



湘北短期大学の SDGs について ご紹介するニュースレターです

～発行者からのお知らせ～
23 年度から、Web サイト湘北 SDGs
を開設し、授業や大学全体の取り組みを
紹介しています。

ニュースレターでは、
Web サイトに掲載した記事の中から、
学科の授業や部門ごとの活動を、
カテゴリー別にまとめて紹介していきます。

今後とも湘北短期大学は
地域に根ざした教育機関として
「Think Globally, Act Locally」を
合言葉に、社会課題の解決にむけて
持続可能な未来の創り手を
社会に送り出していきたいと思います。

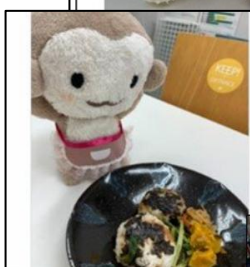
TABEL FOR TWO のポスター



→ 学友会の投稿



← 図書館の
さるーちも
参加



湘北 SDGs

Think Globally, Act Locally.

2024 年度 第 11 号

(通算第 26 号)

今回の発行人 築瀬千詠

yanase@shohoku.ac.jp

学校法人ソニー学園 湘北短期大学

生活プロデュース学科・リベラルアーツセンター

〒243-8501 厚木市温水 428 TEL:046-247-3131 FAX:046-247-3667

【大学の取り組み】 「おにぎりアクション 2024」プロジェクトに参加 (2024 年 10 月～11 月)

本学の学生、教職員に参加を呼びかけた「おにぎりアクション」
(認定 NPO 法人 TABLE FOR TWO 主催、期間：2024 年
10 月 3 日～11 月 16 日) が終了しました。同法人の発表によ
ると、2024 年の「おにぎりアクション」では、SNS を通じて世界 52
カ国から、日本では全国 47 都道府県から、292,836 点のおにぎ
り写真の投稿があり、その結果、1,464,180 食の給食が、アジア・
アフリカの子どもたちに届けられるそうです。

本学では、学内に掲示したポスターなどでプロジェクトへの参加を
促したほか、キャンパスレストランではこのプロジェクトに合わせて「おに
ぎりコーナー」を開設し、日替わりでおにぎりを販売しました。図書館
では、おにぎりにまつわる本の展示コーナーを開設、広報部では、
TikTok 動画で「おにぎりプロジェクト」の紹介動画を公開し、学生・
教職員に広く周知することができました。

プロジェクト期間中は、図書館、学友会執行部、学内サークルな
どのアカウントからの SNS 投稿のほか、「1 日 1 投稿」をしている職
員の姿や、これを機にいつもおいしい食事を作ってくれるキャンパスレ
ストランの方に感謝を伝える投稿なども見ることができました。

『おいしいおにぎりを食べながら、ちょっとだけ世界を良くしてみませ
んか?』と呼びかけた「おにぎりアクション」でしたが、約 1 か月半の期
間を通じて、学生・教職員が SDGs について考える良い機会となり
ました。引き続き湘北では、持続可能な社会の実現をめざして
SDGs 達成に向けた活動に取り組んでまいります。(総務部)

【ご参考】

おにぎりアクション HP

TABLE FOR TWO international



【授業紹介】湘北スタートアップセミナーで SDGs！（2025 年 2 月、3 月）

リベラルアーツセンターでは、3 学科の入学予定者を対象とした湘北スタートアップセミナー（SSS）を開講しました。この授業は、湘北の大学生活にスムーズに入れることを目的とした初年次教育科目で、3 日間の対面授業と e ラーニングの事後課題に取り組むことで、入学後に 1 単位が付与される正規の授業です。2 月、3 月に A から D まで 4 日程を開講、新入生の 8 割以上が参加しました。

3 日間のプログラムには、なりたい自分が見えてくる「大学からはじめるじぶん編集」、2 年間でよりよく過ごすコツがわかる「大学生活を充実させるために」、学内の PC 教室

でメールや e ラーニングなどの ICT に慣れておく「大学の授業で使う ICT」、新聞ワークショップやカードゲームで SDGs を自分ごとにする「SDGs を通して世界を知る」、図書館の使い方を楽しく体験する「本のカレンダー」などが用意されています。全ての授業で、在校生の SA（Student Assistant）がサポートに入るので、入学前から先輩と交流することができる点も大きな特色です。

SDGs の回では、最初に SDGs の基本的な内容を確認したあと、朝日新聞社から寄贈頂いた「SDGs ジャーナル」を使ったワークショップを実施しました。4 人 1 組のグループに分かれ、実際の新聞記事の中から気になるものを 1 つ選び、SDGs の 17 の目標が書かれた「SDGs 付せん」を貼っていきます。社会のさまざまな課題が複数の SDGs と繋がっていることを発見、仲間同士で話し合った内容を全体に向けて発表しました。

プログラムの後半では、2 人一組のチームを作り、一般社団法人イマココラボの「2030SDGs ゲーム」を体験しました。参加者全員が世界の一員となり、与えられたお金と時間を使って多様なプロジェクトを実行し、チームごとに異なるゴールの達成を目指して 2030 年まで活動します。手元のプロジェクトを行うと、経済、社会、環境に対して、プラスあるいはマイナスの影響を与え、黒板に示された「世界の状況メーター」が時々刻々と動くため、世界を変えていくには他のチームとの交渉や協力も欠かせません。初対面だった高校生たちも、いつの間にか活発にコミュニケーションをとっていました。3 月上旬の C 日程では、本学地域連携センター主催の会議参加のために来学された、高大連携校の高校の先生方が SSS を参観されました。本学の SDGs 教育を知って頂くよい機会となりました。



受講した高校生の感想を紹介します。

- ・ゲームやグループワークがとても楽しかった。
- ・SDGs には興味があったので、グループワークの新聞の記事について意見を出しあったりゲームを通して学んだことでより理解が深まった。
- ・SDGs の授業は高校でも沢山受けてきたけど、今回は楽しくゲーム感覚で学べて楽しかった。
- ・他人との協力やボランティアという無償のありがたさなどを体験できたと思う。自分の目標達成だけでなく、他のところの目標も気にかけて動くことも出来たので、協調性が高まったと感じた。

入学後は、総合ビジネス・情報学科、生活プロデュース学科、保育学科で、各自の専攻の授業が始まります。SSS をきっかけに、各分野の学びを SDGs に結び付けて考える姿勢を身につけ、本学が目指す「社会でほんとうに役立つ人材」に成長することを期待しています。（リベラルアーツセンター 築瀬千詠）